

2019年度 学校関係者評価報告書
大阪市立大正東中学校協議会

1 総括についての評価

学校の先生が大変なことは十分理解しているが、子どもたちの健全育成のために今一歩頑張してほしい。生徒アンケートからは学校の取り組みについて高い評価が出ているので、全国学テやチャレンジテストの結果につなげてほしい。

生活指導面では、今年度も落ち着いているように思われるので、この状態を維持してほしい。

2 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

年度目標：【**子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現**】

全市共通目標

○2019年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。

○2019年度の全国学力・学習状況調査における「学校の規則を守っていますか」の項目について『当てはまる（どちらかといえば当てはまる）と答える生徒の割合を80%にする。

○2019年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒数を前年度より減少させる。

○2019年度末の校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を前年度より減少させる。

学校の年度目標

○区役所担当者と連携して、南海トラフ地震等の大規模災害に備えて、学校施設を避難所として整備するとともに、地域を巻き込んだ防災研修を行う。

「いじめ」や「不登校」の問題についてはとても気にしている。難しい問題もあると思うが、なくなることを目標に今後も取り組んでほしい。

自尊感情を高めるような取り組みをもっと入れてほしい。ほめることができるような取り組みが必要だ。自己肯定感、自分に自信が持てるようにしてほしい。

防災については区役所や消防署としっかり連携して必要な研修を行うとともに、防災意識を生徒や保護者に啓発してほしい。

年度目標：【**心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上**】

全市共通目標（小・中学校）

○2019年度のチャレンジテストにおける標準化得点を同一母集団で比較し、いずれの学年でも前年度より向上させる。

○2019年度のチャレンジテストにおける得点が府平均の7割に満たない生徒を同一母集団で比較し、いずれの学年でも前年度より1.5ポイント減少させる。

○2019年度のチャレンジテストにおける得点が府平均を2割以上上回る生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年でも前年度より1.5ポイント増加させる。

○2019年度の学校アンケートにおける「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答

する生徒の割合を前年度より増加させる。

○「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果において特に課題のある柔軟性と持久力についての平均の記録を前年度より 1.5 ポイント向上させる。

学校の年度目標

○ICT教育の充実を図るため、校内の必要な教室すべてにプロジェクターを設置する。

授業研究を行うなど、生徒の学力向上のためにできることをしっかり行ってほしい。

生徒アンケートの中の「校内の清掃が行き届いているか」の項についての肯定的回答が高くないように感じる。校内美化についても学力向上につながるので、しっかりと取り組んでほしい。

大阪市として数字にこだわるところがあるが、もっと大切なこともあると思うので、社会性や規範意識など、将来の生徒たちに必要なものをしっかり身につけさせてほしい。

区PTA協議会では区全体での進路説明会を計画しているが、これも3年生の学習意欲につなげていきたいと考えている。

3 今後の学校園の運営についての意見

大正東中の生徒が、将来地域を背負っていけるように育ててほしい。そのために必要な、基礎基本を学校が中心となり区役所など関係機関と協力して身につけさせてほしい。

地域としては、そのために必要な援助は惜しまない。